
僕らの人生

小説Beginner

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

僕らの人生

【Nコード】

N4652U

【作者名】

小説Beginner

【あらすじ】

「俺らはただの実験台か??」

柿崎雄は全く知らない所にいた。脱出するには最強の兵器カメラを殺すだけ。

始まりの終わり

朝起きたら俺は全く知らない所にいた。

全面、真っ白な部屋に。

「ここはどこだ？」

周りには約10人くらいいた。大柄な男がこっちによって来た。

「お前どこから来たんだよ？」

大柄な男は俺に聞いて来た。

「知らねーよ。まずココがどこなのかも。」

俺は大柄な男にそういった。ここにいる人みんな、ここがどこなのか分からなかった。

「糞が使えるーガキだ。」

大柄な男はそう言って一人座り込んだ。

突如大型モニターの電源がついた。

「諸君、おはよう」

少し痩せて髭を生やした男がモニターに映った。

「これから君たちにはある生物と戦ってもらう」

男はそう言って説明を始めた。

「君たちは政府が行なっていた実験を知っているかね？」

高校生くらいの男が質問した。

「それって、生物実験のことか？」

「ご名答!!!」

「それがどうしたってんだ？」

そう聞き返すと髭の男は話し始めた。

「今、我が国は最大の敵中国と戦争してるのはしってるよね？」

「それがどうしたってんだ!!!」

大柄な男は怒りながら言った。

「そこで最強の兵器を創ろうとしたんですよ、中国を壊すために」
「それが生物実験に関係あるのか？」

高校生くらいの男がそう言うのと髭の男は笑った」

「大ありですよ！だってその最強の兵器は生物実験で創りだしたキメラなんですから！！」

「キメラ？」

とみんなは聞き返した

「そう、キメラ。最強兵器キメラですよ！！」

「それで、俺らは中国と殺らせるまえの実験台ってことか！」

俺はそういった。髭の男はまた笑った。

「違いますよ。実験の失敗でキメラを操れないんですよ。

しかし、キメラは強いですからね〜あと我々は無駄な時間をかけたくないんでね。」

少し沈黙が起きた。

「だから貴方たちに処分してもらいたいんですよ」

「ふざけんな！！さっさとここから出せ！！」

大柄な男がそう言った。しかし

「そんな選択肢はない。キメラを倒せばここから出す、褒美だっていくらでもやる」

髭の男の口調が変わった。俺は決心した！！

「やってやるよ！！」

俺がそう言うのと、髭の男は笑った。

「武器は用意します。ではまた後ほど」

もうすぐキメラとの戦いが始める。俺はこぶしを強く握りしめた。

「おい！北原！最後にやってやると言った、高校生くらいの男の名前を教えろ！」

髭の男はそう言って椅子に座った。

「谷垣さん、あいつの名前は柿崎雄です」

「柿崎雄か、こいつなら今度こそイケるかもな」

俺たちはまだ知らなかった、この戦いの本当の意味を・・・

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4652u/>

僕らの人生

2011年10月8日14時51分発行